



6月25日(水)、13年度生(2年生)の総合学習Ⅰの授業で、「卒業生シンポジウム」を開催しました。様々な進路先で活躍する、本校の卒業生を8名招き、在校生が気になる様々な質問に答えていただきました。大学生からは受験勉強の苦労や、経済面の負担、大学生活などをお話いただきました。専門学生からは、授業内容や就職活動に向けての苦労、資格取得についてのお話をいただきました。就職した卒業生は、飲食業界、福祉業界、ホテル業界、また、歌舞伎の床山さんなど、様々な職種の先輩から現場の苦労とやりがいを、生き生きと語っていただきました。



7月2日(水)、13年度生(2年生)の総合学習Ⅰの授業で、「社会貢献活動」を開催しました。南区役所・弘明寺商店街と連携した企画で、昨年南区大岡に移転した時から実施しています。Ⅰ部の生徒は商店街の側溝清掃。アーケードの両脇にある排水溝の細い溝に、ドライバーを差し込んで、そこに詰まったゴミを穿り出していきます。中からは、たばこの吸い殻、ガムなどのゴミ、様々なものが出てきました。道路にしゃがみ込んで作業をしている横総生に優しく声をかけていただいた地域の皆様、ありがとうございました。

Ⅱ部は学校周辺の地域清掃。南区の「ポイ捨て禁止」ののぼりを持って町を歩き、ゴミ拾いを行いました。様々なゴミが学校に集められましたが、翌日には南事務所の方々が収集に来てくださいました。

Ⅲ部は、夜19:30からの活動となり、地域清掃ができない代わりに、南区が行っている駅頭啓発キャンペーン活動を行いました。南区役所から21本ののぼりをお貸し頂き、「3R夢キャンペーン」や「歩きたばこ禁止」「ポイ捨て禁止」などの啓発活動を行いました。総勢80名以上の横総生が弘明寺の町に繰り出し、地下鉄駅前、観音橋周辺、京急弘明寺駅前など、様々な場所で「ポイ捨て禁止」のロゴ入りポケットティッシュと、ゴミ分別推進用の水切りネット、合計700個を配布しました。



横浜総合高校では、選択科目の中に「キャリアデザイン」という授業があります。社会に出るために、社会に出てから、必要となる様々なことを体験的に学習していく科目です。そして、「キャリアデザイン」の最後の課題が、インターンシップです。実際の職場に向き約一週間、一緒に仕事のお手伝いをさせていただきながら様々な学習を行っていきます。今年度のキャリアデザイン受講者は8名でした。農場や福祉施設、保育園に市役所など、実習先はさまざまです。今回はその中で、南区役所で実習をしている生徒の様子をご紹介します。3年生のSさんは、女子バレーボール部のキャプテンです。この日の業務は、総務課の選挙啓発イベントの手伝いです。人気映画の上映もセットになっていたのも、当日は夏休みの子どもたちであふれました。Sさんは受付で、子どもたちにマスコットキャラクターのグッズを配布しました。そしてその後、実際にそのマスコットキャラクター、イコット jr ちゃんとして、ステージに上がり、「みんなで、選挙にいこっと！」のPRを行いました。当日の朝にリハーサルを行っただけで、Sさんが演じる一生懸命なイコット jr ちゃんに500人近い観客から大きな拍手ももらうことができました。イベント終了後にはすっかり人気者になったイコット jr ちゃんでした。



▲特製の入場アーチをくぐります。



▲専門学校が学生がカスタムしたスポーツ▲専用の器具の上で、実際にカスタムバイクが、3台も！（ポルシェ・フェラーリ・クを走らせる。唸るエンジンに興奮！RX-7）



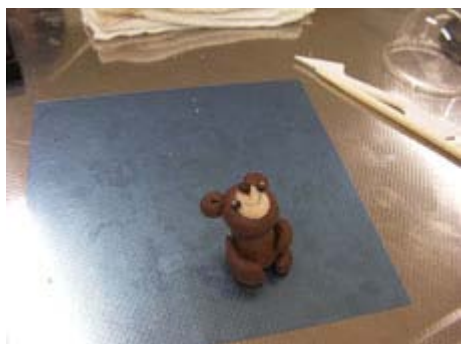
▲アニメーション、イラストレーターのブ▲学校長（左下）はあいさつ回りで大忙し。ースは常に満席



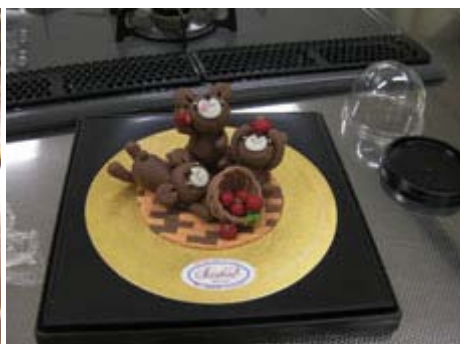
▲体育館に30の体験ブースがひしめきあ▲建築関係の体験ブース



▲完成しました。



▲生徒の作品。



▲調理製菓製パンの体験ブース。



▲普通教室ではパソコン・ゲーム業界の体験が。



▲専門学校の先生が熱心に授業をしてくださりました。



▲アフレコ体験。画面に合わせてセリフを載せません。以外に難しい！？



▲動物看護師トリマー体験ではかわいいわんこ達に癒されます。



▲葬祭ディレクターの仕事体験。普段なかなか見られない世界に生徒も真剣です。



▲南区のマスコット「みなっち」も会場を盛り上げに来てくれました。

9月24日、横浜総合高等学校では「横総未来博（Yokoso Future EXPO）」という新しいイベントを行いました。「産業社会と人間」および「総合的な学習」の授業時間として行われました。将来の進路を考えると、なかなかイメージがつかみづらい。そんな悩みを解消するための、大規模な職業体験・職業ガイダンスが、横総未来博です。「未来を考えることは、本来楽しいこと」「テーマパークのような一日を」というのが、横総未来博のコンセプトです。専門学校56校、大学短大12校の協力を得て、体育館や教室に全部で36か所の職業体験ブースと20か所の相談ブースを設置しました（体験分野：医療・保育・教育・建築・ビジネス・公務員・事務・介護・福祉・デザイン・理美容・ブライダル・葬祭・映画・漫画・アニメ・声優・音楽・CG・プログラマー・ゲーム・ジュエリーデザイナー・自動車・自転車・調理等 その他：就職試験体験・就職面接体験・保護者相談コーナー等）。その他にも、未来を考える寸劇「フューチャーライブ」をアリーナ（第二体育館）で開催。なんと横総オリジナルの脚本書き下ろしで、プロの役者さんに演じていただきました。アトラクションあり、ステージありと、横浜総合高等学校の校舎が、まさに未来を考えるテーマパークに様変わりした一日でした。

動画を再生するには、video タグをサポートしたブラウザが必要です。

10月



10月29日（水）14年度生を対象に「産業社会と人間」という授業の一環で、職場見学が実施されました。この行事は、職業に対する理解を深め、職業の果たす社会的役割を学ぶこと、そして生徒各自が進路選択や進路実現に向けて学習活動を進めていこうとする意欲と態度を育成することをおもな目的としています。見学および体験先は、高齢者介護施設、幼稚園、保育園、裁判所、水道局、資源循環センター、食品製造工場、横浜税関、地下鉄車両基地、海上保安庁、総合建設会社、船舶建造修理工場、自動車工場、テレビ局、動物園と、様々な業種の企業等にご協力をいただき行われました。画像はビール製造工場です。原材料からのこだわりの製法とともに、エコ活動に向けての企業努力の説明に生徒たちは耳を傾けていました。

10月29日(水) 国際理解教室

総合的な学習の時間の「国際協力」分野の学習の特別講義として、アフリカから日本に来て働いている人の生き方に関心を持ち、多文化を受け入れ、共感する姿勢を育てる。また、ゼネガルの迫力あるリズム・ダンスなどの音楽を体感することで、自己や他者の伝統文化を尊重することの大切さに気づかせる。外国に繋がる生徒も本校で、多文化を理解する機会と捉えている。



企画運営：かながわ国際交流財団（K I F）高校国際教育支援事業

講師：ンジャセ・ニヤン（N'Diasse Niang）氏

ゼネガル出身・神奈川県在住のパーカッションリスト。ジャンベやサバル、ソウルバ、ブガラブーなどアフリカの伝統楽器を演奏する。

11月



ビバ！青春～僕らのキセキ～のテーマのもと2014年11月2日（日）3日（月）に横総祭が行われました。企画として飲食展示で40団体ステージ発表9団体が参加し、クラス、部活動、委員会、有志等で工夫と個性あふれるものとなりました。また、社会貢献活動の一環としてさくら貯金の募金箱の設置、ヨコハマ3R夢の啓発を呼びかけるテッシュの配布、学校周辺の地域清掃を行いました。

3月



3月13日。第11回卒業証書授与式。就職、専門学校、大学と進路が決定し、これからの生活に不安と希望を持ちつつも、今日は横浜総合高校で過ごした日々を思い出し、節目の日となりました。支えてくださった、保護者の方々、生活や学習の指導を、やさしく、時には厳しくしてくださった先生方。それぞれに思い出があります。

